

第100号発行おめでとう

これからも楽しい「第五つうしん」を続けてください

第五つうしん

第100号

21. 2. 15

発行 編集委員会
事務局 荏原第五地域センター
TEL 3785-2000

豊町二丁目親和会
上田健次



二葉三丁目町会
伊藤克彦



二葉二丁目町会
尾川敏男



二葉神明町会
小川まき子

豊町五丁目町会
中川幸夫



豊町一丁目町会
片桐幸子



豊町三丁目町会
古賀政巳



豊町四丁目町会
三橋義一



二葉中央町会
飯塚健雄



二葉一丁目町会
清水義男

荏原第五地区連合町会会長

三橋義一(豊町四丁目町会)

私は機会があるたびに、「うちの『第五つうしん』はすばらしい」と言っています。それは、地域の「歴史や風土」「人物やお店」「まちの変化の様子」など、誰もが知りたい情報を的確に伝わるよう、編集委員のみなさんが日々努力されているからです。荏原第五地区では、まつりや防災対策に、また青少年では運動会やキャンプにと、いろいろな事業がよい雰囲気の中でスムーズに進んでいて、非常に喜ばしいことです。今後も我が地区のメッセンジャーとしての役割を發揮し、新しい歴史を刻み続けていただくことを期待しています。

荏原第五地域センター所長 白崎 春江

昭和60年7月15日創刊発行。今、改めて「歩いてつくる記事満載」の中身を読み通してみました。

街の今昔記事では、品川用水の特集号(第66・67号)は圧巻、水路跡を辿って取材・調査した重さが伝わってきました。また、地域情報、ごみ資源(第98・99号)は、体験記と町会活動紹介でタイムリィ。

「我が街を知り、住み良い街づくりのために」の編集方針に基づき、①イラスト・カットが良い②親しみがある③読みやすい紙面づくりが強く印象に残りました。編集にかかわった数多くの方々に深く感謝するとともに、皆様の更なる活躍を期待しております。



発行四半世紀

第五つうしん代表 塚本博良

昭和60年7月創刊。第4号からは各10町会から選出された編集委員により、地域の出来事・話題・諸行事や歴史など、様々な情報を提供できるよう努めてきました。掲載記事により、取材や調査は地方にまで及びました。戸越公園は熊本市、伊藤博文別邸移築では萩市に取材。日光市や伊東市には、委員の交流を兼ねて行きました。いろいろと苦労もありますが、皆様により一層親しんでいただけるニュースをお届けできるよう、委員一同これからもガンバっていききたいと思います。これまで協力し支えていただいた、多くの皆様に感謝するとともに、共に歩んだ、「100号まで繋いできた編集仲間たち」を左記のとおり紹介します。

- 豊1 砂川久子・松岡須美枝・重松和子・豊田京子
高橋保子・田中光子
- 豊2 安藤正海・山口領子・平井篤子・北村紀子
- 豊3 松縄一男・北原起佐・神谷ひとみ・松縄文子
- 豊4 佐藤伸男・鈴木清治・細田三子
- 豊5 塚本博良
- 葉1 桜井英夫・岸 正江・屋代みき
- 神明 菊地博子・堀口美都子・幡野晴子・庭野善男・長尾晋代
- 葉2 深谷可也・山口千恵子・友近美夫・石垣裕子・中島典恵
- 中央 川名義男
- 葉3 鈴木英子・大野由美子・浦井治美・飯塚治代・佐藤鈴江・小林紀子 (ゴシックは現委員)

みなさんの新聞です。一部ずつお取りください。

各町会長より

お祝いの言葉

豊町一丁目町会

片桐幸子

『第五つうしん』95号に「地域で子どもを守ろう」という記事がありました。8・3運動では子どもの登・下校時に声かけをしております。近頃大変嬉しいことは、学童からの挨拶です。「言葉は人と人を繋ぐ力となり」「ひいては地域住民との交流にも繋がる」と信じています。

豊町二丁目親和会

上田健次

昭和60年初版発行以来24年間の弛まぬご努力ご苦勞様です。その間荏原第五地区の広報としての役割を立派に果たされ、地域住民の啓蒙に務めてこられました。また、24年間の長きに亘り、ボランティアとして委員を続けてこられた方々もおられ、感謝しております。

豊町三丁目町会

古賀政巳

地域のニュースや行事予定、各町会の取り組みなど、大変参考になる記事がたくさんありました。過去の記事の中でも私の記憶に残っているのが、荏五の歴史的な史実である荏原郡平塚村宇蛇窪時代の様子や風景、その他品川用水路の起源など、実態調査や記事にするまでの大変なるご苦勞があったのではと推察いたします。

豊町五丁目町会

中川幸夫

明るいまちづくりが町会活動の根源です。そのために、会員相互のコミュニケーションをはかる役割の一端を、今後とも果たしていただくことを期待しています。

二葉一丁目町会

清水義男

地域の皆さんに喜ばれています。内容もすばらしく、編集委員さんの地道な活動を通して、地域へ貢献するその功績は大きいです。ますますの内容充実を期待しています。

二葉神明町会

小川まき子

編集委員の方々の弛まない努力と、又足を使って取材した様子が文面の隅々から感じられます。以前私どもの杖道の稽古場を取材して頂きました。発行された新聞を見て大変嬉しく感じました。地域の状況が居ながらにして解る貴重な存在です。

二葉二丁目町会

尾川敏男

地域の豆知識ともいえる『第五通信』創刊号から今日まで、ご多忙の中携わってこられた編集委員の皆様、大変にご苦勞様です。地域の人は、毎回何が掲載されるか楽しみに待っています。

二葉中央町会

飯塚健雄

「素晴らしい」とは、「優れていて無条件に褒め称えられる有様」と辞書にあり、正しく第五つうしんに与えられた言葉です。100号まで発行された事は大変有り難いことです。無報酬・手弁当で取材活動や資料収集にと、大変な努力をしてくださる編集委員の方々に心から敬意を表します。

二葉三丁目町会

伊藤克彦

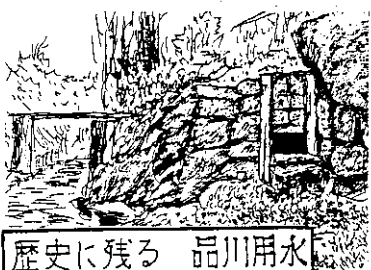
昭和60年7月15日に第1号の『第五つうしん』が発行され、この約四半世紀の間、地域の今昔（昭和2年大井町・大岡山間が開通し、蛇窪駅、今の戸越公園が開設等）タウン情報等内容も充実され、発行日を楽しみにしている町会員も多いようです。編集委員の皆様方に改めて感謝申し上げます。

みんな集まれ！

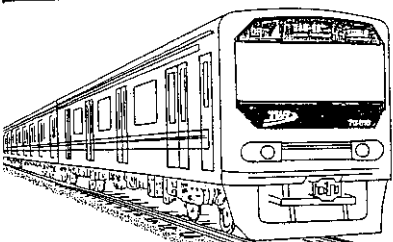
歴史と緑のまち“えばご”

第五つうしんの予告特集

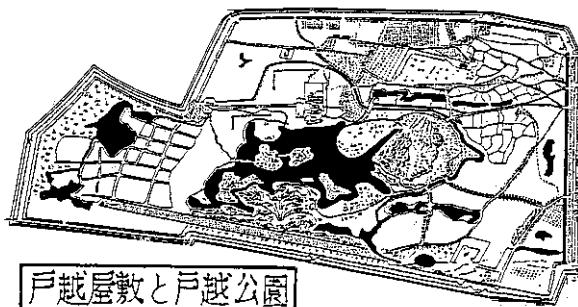
日時 3月7・8日(土・日)9:30~15:00ころ
場所 荏原第五地域センター周辺



歴史に残る 品川用水



地域の発展 りんかい線



戸越屋敷と戸越公園

※ 似顔絵コーナーあります ※

7日8日も：先着12名

(9時50分から整理券配布)

午前の部：10時から

午後の部：13時から



資料・写真・模型
などを展示します

第五つうしん会場
第2集会室

第99号のクリスマス・クイズ

答え「③東京スカイツリー」でした。
10名に賞品をお届けしました。

古紙を配合した紙を使用しています

ひり言

今年、私は一大決心をし、家計簿をつけることにした。今までは収支が合えば良いと思っていたのだ。昨年からの世界恐慌のニュースに影響され、我家を守るため無駄を省き、物欲美食を少しずつ減らしていくように心がける一年にしたいと思ったからだ。世の中がゆれ動き、未来の日本を担う子どもたちや若者が安心して暮らせる様にしてほしいと思う。

光子